

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

交通安全課長 伊藤 宏

電話番号

0852-22-5898

事務事業の名称	運輸事業振興助成事業	
目的	(1) 対象	トラック・バス・タクシーの運輸事業者団体
	(2) 意図	交通安全対策、旅客又は貨物輸送サービスの改善・向上、環境対策などに取り組む
事業概要	公益社団法人島根県トラック協会、松江市交通局、一般社団法人島根県旅客自動車協会に対して助成を行い、トラック、バス、タクシー等の県内年間事故件数の減少などに寄与する。 【主な助成目的】 ・旅客又は貨物輸送の安全確保 ・旅客又は貨物輸送におけるサービスの改善・向上 ・公害防止や地球温暖化防止等の環境保全 ・経営の安定化 等	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	トラック・バス等の事故件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		134.00	134.00	134.00	134.00	
式・定義	トラック・バス・タクシーの県内年間事故件数(トラックには軽トラックを含む)		実績値	94.00	79.00	77.00	56.00		
			達成率		141.10	142.60	158.30		%
式・定義	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	119,293	119,293
うち一般財源(千円)	119,293	119,293

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

助成金の活用策として、交付団体に対して、交通事故防止策、環境対策などの働きかけを行った結果、トラック・バス・タクシー等の県内年間事故件数は年々減少傾向にある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・県と県トラック協会において、平成25年4月に「緊急・救援輸送等に関する協定」を締結し、災害時における緊急・救援物資の輸送や、物流の専門家の派遣など、災害時の対策強化を図った。
- ・県トラック協会では、輸送安全の確保やサービス改善向上のための講習会等の実施、交通安全PR看板設置・PR用品配布、公害・地球温暖化防止に係る各種助成、適正化巡回指導などに取り組んだ。
- ・島根県旅客自動車協会や松江市交通局では、バス時刻表作成や、バス停時刻表作成、バス停の整備、学校等へのバス券券機設置など利用者サービスの向上を図るとともに、エコドライブ研修や低公害車導入助成事業など環境対策にも寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

補助金交付団体を構成する事業者の中で、補助事業を活用する者が特定される傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

補助金交付団体から各事業者に対し、対象となる事業や補助金会計処理等についての周知が不足している。

③原因を解消するための「課題」

補助事業が十分活用されるよう、県から補助金交付団体に働きかけ、さらに周知する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

補助事業の実地検査を継続するとともに、事業が十分活用されるよう各補助金交付団体に働きかける。運輸事業における緊急・救援物資輸送等については、今後も関係機関・団体等と連携しながら運用の強化を図っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）